

DX推進特別委員会

協議会
2月13日

町民の暮らしのための デジタル化を



- 町民の暮らしのためのDX
- 在宅、庁外からの遠隔相談の実施
- 公式ホームページの更新、取り組みの継続
- 公式LINEの導入
(左写真参照)

DX推進方針に基づく取り組み状況が報告された。
その中ですでに実施している項目の、主なものを取り上げる。



- カメラによるアンダーパスの自動ゲート設置
(左写真参照)



- 地域の問題解決と経済活性化のためのDX
- 保育園運営のデジタル化・効率化
- 図書館運営のデジタル化・効率化推進



システムでより利用しやすく



- 持続可能な行政運営のためのDX
- 自治体情報システムの標準化・共通化への移行
(令和8年1月末)
- 議会のペーパーレス化(令和7年度中に本会議でタブレットを利用予定)
- 議会では、2月の協議会よりタブレットの利用が開始された。
(下記写真参照)
- (その他23項目を協議)



今後の予定(主なもの)

国の補助事業を活用したスマート窓口導入。
書かせない窓口及び事前申請システム導入などを進める。

あの一般質問は どうなったの？

その後
追跡



その後
令和7年2月23日に、町民会館さくらホールにて、歴史学者、磯田道史先生を招き、『幸田町ゆかりの『三河武士』に思う』の題目で講演会が開催された。

答 文化振興協会と相談し、広いホールを活用してできないか考えている。

問 有名な先生を招き、『どうする家康と幸田町ゆかりの三河武士』等の題目で、講演会をやったかどうか。

『どうする家康』効果の活用は

●令和5年3月議会
都築 幸夫 議員



堤防舗装された幸田駅西の広田川

答 菱池遊水地完成を念頭に、自転車ネットワーク整備に取り組む。

問 健康づくりのために、広田川、舟山川の河川堤防を利用した、健康の道自転車道の設置を。

河川堤防を健康の道自転車道に

●令和4年9月議会
都築 幸夫 議員

その後
広田川は、令和6年6月に幸田駅西約400mが堤防舗装された。舟山川は、令和5年3月と令和7年3月に堤防舗装された。
以上より、安全に自転車利用ができ、健康づくりに寄与する整備がされた。



その後
令和7年1月から、難聴高齢者を対象に補聴器購入助成が始まった。希望者は、福祉課介護保険グループへ相談を。

答 岡崎市を参考に、準備していきたい。(令和6年9月)

答 補聴器の助成事業は検討している。(令和5年12月)

問 加齢性難聴者の補聴器購入助成の考えは。

加齢性難聴の補聴器購入助成を

●令和5年12月議会
丸山千代子 議員
●令和6年9月議会
野坂 純子 議員



その後
産後ケア事業は、令和5年4月から訪問型も利用可能となった。利用前に保健センターに相談が必要。
電子申請が導入され、利用者負担が軽減された。

答 訪問型ケア導入の近隣市町村の状況を確認し検討していく。

問 訪問、短時間ケアへ事業拡大を。

産後ケア事業に訪問と短時間利用の拡大を

●令和4年9月議会
岩本 知帆 議員